この機関紙は三池、田川、山野三山の共同編集です

発行所
三池炭鑛労働組合
大牟田市不知火町
電話3033番
炭電 528 475 番
編集発行人　平島敏治
三鉱労組印刷工場
三鉱労組
機関紙

弱腰になった會社

組合は基本方針で斗う

端島（全炭鉱）の共斗で効果あがる

一社重点ストに三菱高島、美唄を十三日より無期限ストに突入せしめたが、三菱の会社側は頑強に窓口を閉じて炭労の足並の亂れるのを期待している状態であるが、スト突入の高島、芦別はもとより、炭労各ブロックも闘争意欲は益々あがり、一糸亂れぬ闘争態勢は確固たるものになり、ようやく三菱の会社側にも憂色の色が見えて来た。

三菱に一大デモ

炭労ブロック期闘は二十日の総評主催「生活危機突破大会」を機に三菱本店にデモをかけることを決め、当日総評傘下の各単産の協力で一大デモを敢行した。デモ隊は会社に対し、炭労の主張する正当な対角線交渉方式に応ぜよと抗議文を手交した。これに対し会社は、刑部協議の結果、組合側の交渉団に対し、組合抗議の趣旨を諒として、事態解決のため、現在決裂中の団体交渉を再び軌道にのせることを意思表明した。

對角線交渉方式を守る

午後三時、団体交渉をはじめるための事務折衝をはじめることをきめ、その態度として、①交渉はうける　②しかし、そのために当初の基本的態度はかえない。すなわち対角線交渉方式を守る　ことを決め、組合側から炭労藤原事務局長、菱炭労両事務局長の両氏が会社と事務折衝に入った。

會社　このまゝでは局面打開は困難であるので、会社も考え方を下げるが、組合もゆずってくれ。

組合　会社も考慮するので組合も考慮せよというのは、上期の三番調印のことを云っているのだ。従ってこれは基本方針に反するし問題とするに足りぬ。二十一日更に折衝することになっているが、会社が本日と同じ考え方であれば決裂するので、何とか局面打開のため折衝したいということであれば折衝する

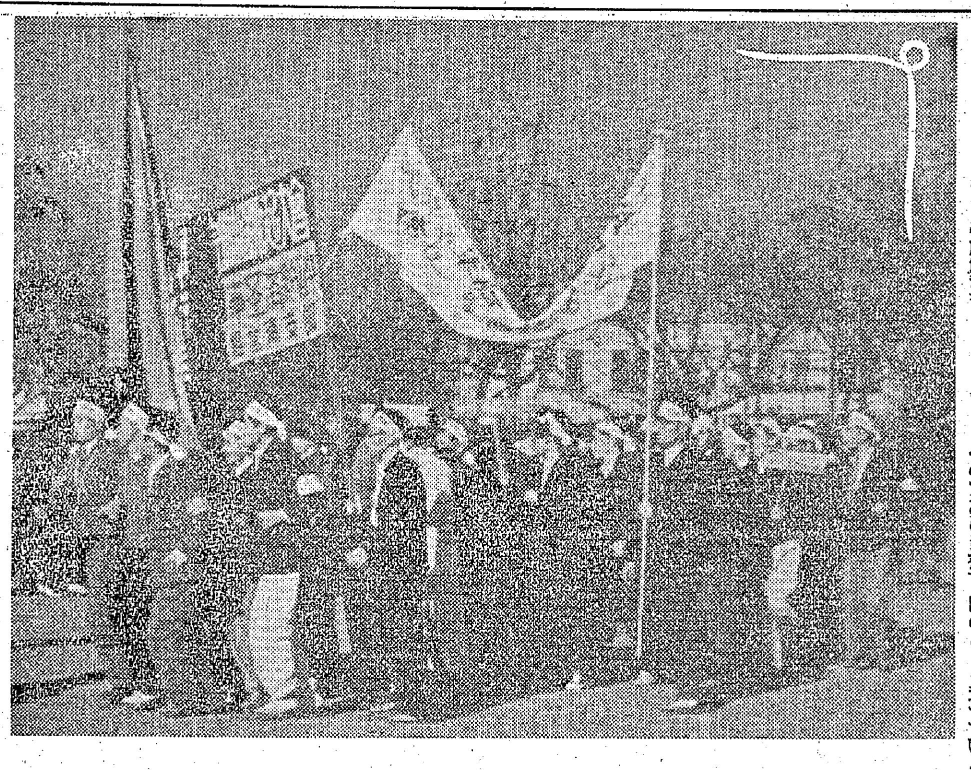
と主張した。

会社小委員会案を出す

つゞいて二十三日午後四時より、会社の申入により団体交渉を開いたが、会社は相当の打撃をうけているにもかゝわらず、依然として炭労の要求する交渉方式を拒否、わずか一時間ばかりで再び会社からの事務折衝申入れがあったので、これに応じたところ、会社は「事態解決のためには、基本論ばかりでもいかない。また正式団交では堅くなって失言をおそれてお互いの腹も仲々わからないので、小委員会で交渉を進めたい。」と提案して来たが、炭労は「折衝案で解決する考えはない。そのようなものに入ることは問題だ」と一しゅうしたが、会社はなお「折衝案でなく、誠心誠意解決のために当る」と小委員会での交渉を主張した。

しかし、中闘は会社の切崩策に乗ぜられることなく、基本方針通り闘いを進める。

なお全炭鉱傘下の端島労組が共闘に立ち上り、ストに突入したことは愈々会社に打撃を与える結果となり、炭労ストの効果は益々あがっている。



ガツチリとスクラム組もう

前進

全組合員並びに家族の皆様へ

われらが光栄ある三鉱連の『首切り闘争』勝利の日第一回記念日を迎え、わが西鉱連は傘下全組合員並びに家族の皆様の実力をもって示した団結と闘魂に対し感激を新たにするものである。

確に三鉱連は偉大なる巨歩をおし進めた。然しながら、わが西鉱連はあえて此處に全兄弟同志諸君並びに家族の皆様に訴えなければならない。

『一一三日の闘い』の中に、西鉱連三山は最後まで一山の脱落もなく闘い抜いたのは事実である。がその内部に於いて各山諸々の事情があったにせよ、長期闘争の過程に三山かならずしも足並みを揃えるに至らなかった恨みは事実であり、これが『一一三日の闘い』の間に西鉱連として苦悶せしめたのは、いなめなかったのである。

企闘終結一年、日本労仂者の平和と解放への努力は大きく發展しているが、情勢は更に悪化している。なぜなら、正しい力の前にあがく反動勢力が今や狂人じみた彈壓を見さかいなく行おうとしているからだ。われらは、たゞ実力をもって対決する外はない。

われらは再び熾烈な闘いの中に突入する。曰く前段闘争、期闘、賃闘或いは選挙闘争、又予想される会社の首切合理化を粉砕する経営變革闘争であり、この闘争が『一一三日の闘い』より困難であっても、容易であるという結論は何處からも生れてこない事態はまさしくこの通りである。

従って如何に意識の昂揚と団結の強化を叫んでも言いすぎることはない。全組合員並びに家族の皆様の職場、社宅を中心とする下からの強い激しい盛り上りの下に三山のより一層の統一と前進を切に望み、崩れることなきを願い、生活の困窮、労仂の過重を克服し、そのハネ返しの闘いに屈せざる全組合員並びに家族の皆様に勇氣と確信をもって相ともに闘い進まんことを望む。

経営方針変革斗争

申入は12月初旬に

労働者のクビ切り犠牲の上に行われる三井鉱山の経営政策を追及し、その独断と専制を根底から変革させるべく、第九回三鉱連大会において決定した経営方針変革闘争に基ずく「経営協議会ならびに協議事項十二項目」を掲げ、十二月初旬会社に申入れをする。なお十一月二十六日西鉱連執行委員会に出席した三鉱連事務局長灰原氏は次の如く語った。

「経営変革闘争とは組合がある限り勝手にクビを切らせないということだ。一一三日の企闘に勝ったからなどゝ思っていると、敵の思うツボに落ちてしまう。なお彼等はあらゆる角度から組合分裂　打倒の研究を重ねている。我々は一歩前進し、会社のクビ切りの根底をつかまなければならない。三鉱連のスケジュールは本年一ぱいを意見の交換期間として組合員一人一人及び家族の皆様に理解して頂き、明年早急に拡大執行委員会を招集して今期中に解決していく様努力を続けていく」

西鉱連事務局は灰原氏来局と共に三山鉱業部長会議を招集して灰原氏を囲んで今后の山元における情宣活動等を充分に論議して方法等は各山によって違ってくるが、闘う態勢、情宣の徹底は三山共に一本の形である。

山元より壓力をかけよ

要求項目に関しては中央経営協議会十二項目、事業所経営協議会十項目、以上に集約して今后の闘いを展開していくのである。

現況石炭界の情勢は赤字を名目とした経営者の不当なクビ切りが各所において行われている。労働者はそうした経営者の提案に対しても、ただ赤字であるからやむを得ないという考えではならない。彼等が企図する内容は何処にあるかを究明する必要があろう。この様な重要な闘いの中にあって、西鉱連としても九州三山の闘える強力な態勢の一本化に今后も努力を重ねていく。我々同志の中よりクビ切りを一名も出してはならないし中央交渉と併行して山元よりの圧力を結集して早期解決に全力を尽さねばならぬ。

苦情を吸上げて

経營變革斗争で立上る

第九回三鉱連大会で、もみにもんで決定した経営方針変革闘争の大綱は経営協議会を設置して経営方針の決定に参画して具体的な経営実態を把握するための全体的闘争と、あなたまかせの従来の職制による作業指示を排除して労働者自らの良識を生かした作業形態を確立するための日常闘争との二点に集約することが出来る。

山野においての全体闘争に対する意識の盛上り情況は、去る十一月十九日に中央委員会を開催して、三鉱連大会報告を廻っての論議も経協設置についてかなりに懐疑的であったが、結局この大会決定は確認され、直ちに委員を通じ各職場に趣旨の徹底を図り、併せて機関紙をもって具体的な大会内容を発表して、その周知に万全を期したが全体闘争の波は中央の動向と密接な関連があり、これが動きとにらみ合せ十二月中旬に無記名投票の集約を行う予定。この投票成績は全体闘争に大きく影響するので最良の結果が期待出来るよう十二月一日より苦情吸上げ旬間を設けて啓宣活動に全力を傾注していく予定である。

日常斗争を强力に

日常闘争についての情況であるがこれは今次賃闘における炭労の前段闘争と切離して、この期間は考えられないので前段闘争の内容がこの期間における変革闘争の具体的方針ともなり、且つ闘争指標もまた前段闘争の指標より特に生産に関連しないものを除くことによってその指標となし得るのであるが、こゝで重要なことは同じ指標をとり上げても前段闘争と、変革闘争とはその目的が社会化という最終目標までつきつめれば一致するが、当面している時機においては若干の異りがあるので　その取り上げ方、闘い方もまた異ってくるのである。

最后に特に報告しておきたいことは昨年のクビ切り闘争以降　組合員間に経営方針に対する関心が昂まって来たことであり、このことがこうした闘争の企画をまたずして着々とその実を結んでいることである。例えば従来一方的な実施をゆるしていた課内相互間の人事異動についても協議を必要とする慣例を作ったり、昼間発電の確保請負人や組のしめ出し等　幾多の成果をおさめていることである。

寄稿

第十九国会終了后、九州、北海道に報告遊説を続けていた阿具根参議院議員は盲腸で約一ケ月入院加療中だったが、最近の政局、炭鉱、労働行政等につき一文を寄せられた。要約して左に掲げる。

最近の情勢について

参議院議員　阿具根登

保守新黨

改進、日自、それに吉田一門にあってうだつの上らなかった卅九名が寄り集って日本民主党を結んだが、吉田を憎むのあまり、この新党に対して無関心であってはならないと思います。要するにこれは積る吉田悪政に対する国民の怒りから自分たちだけが免れようとする猿芝居であり、その顔触れを見てもわかる通り政策の面でも何等目新しいものはありません。

自由党、日本民主党を問わず彼等はたゞ権力が欲しい、名誉が、金がほしい、そのためには恥も信頼もなく平気で離れたりくっついたりする訳ですが、ただ彼等が一致して敵視しているのは労働者であり、その組織である労働組合であります。だから何とかしてこれを弾圧し、首のように物をいえないものにしたいと企んでいる事を私達はよくよく頭に刻みこんでおかなければならぬと思います。

勞働政策

ステップ・バイ・ステップという言葉は十六国会においてスト規正法が出された時に政府のヘラをバク露された言葉であります。いわゆる一歩また一歩、既成事実を作り上げて行くのは吉田政府のお家芸であり、先ず破防法、スト規正法で電産、炭労をしばり他の労組にもニラミを利かせるつもりが、どっこい労組の方でも一歩又一歩、彼等が予期もしなかった頑存だのろしがあがり、又これこそ封建制の牙城と思われていた証券取引所にまで火がつき、握りしめた手に通う温い血の流れは反動の何者をも通さないピケとなった。あわてた政府はピケの限界なる小坂談話なるものを発表し、警官を介入させ、更にそれを正当づけるために次官通牒を出した今また官公労闘争に際し同様手口で警察、処分という手で対処しようとしている。資本主義内閣の下にあってもこゝだけは労働者の相談相手たるべき労働省が、今や吉田内閣の急先鋒となって労働者の弾圧にかゝっているのは何故か。親子二代にわたる吉田の知遇に今や側近の一人に数えられる小坂労相が盲動をはげんでいるためであるが、元来彼は生れながらの資本家であり、労働者を羊のように無力化することばかり考えて居る。本年八月現在完全失業者七十一万、潜在一千万をこすといわれ失業対策の第一は失業者を出さない事であるにもかゝわらず彼は閣内において閣僚大臣とわたり合うでもなく全くの無為無能である。しかも無力な者程権力に頼り勝ちな事実を我々は彼においてはっきりと見る事が出来るのであります。

炭鑛對策

現在極度の不況にあえぐ炭鉱対策として政府ならびに日経連は重油の消費規制、炭鉱融資のワク拡大、その他を考えているが何等目新しいものなく焼石に水である石炭五ケ年計画（五年后には人員を二割減らして五千万屯出す）にしても政府が炭価をおさえるためにアメリカから無税の重油を大量に入れたのがたゝって石炭需要が食われてしまい、今更重油を規制しようとしても追つかない状態からして所要石炭需要五千万など机上プランに過ぎない。大体石炭を燃料とする考え自体、既に時代おくれであり、ガス化して色々な用途に使う事が積極的に考えられなければならない。結論を急ぎますが国が何ら政策を持たず場当りばかりやって来たから今日の禍根を招いたのであり、何を措いても先ず炭鉱国営を断行する事が急務です。アメリカを除き英、仏、西独等それをやっており、又炭鉱労働者が最も優遇されているのに、日本では全くその逆を行っている現状からしてもその必要が痛感されます

地域職場の要求掲げて

斗争意欲は盛り上る

田川労組

前段闘争には入るや先ず田川は各支部に職場闘争を行うよう指令し執行部は速かに職場闘争の実態の調査を行った。各職場では代議員又は職場責任の方々が主に職場闘争委員と成って色々な職場の苦情等を集計し、執行部もまた各職場をまわり闘い方を進めて行った。組合員と組合幹部は一緒になり闘争し、また社宅では社宅単位に常会を行った。

こうしてみんなの努力により、各支部ともそれぞれ数十項目を集計し、会社と交渉をもった。或る支部では徹夜をして交渉した。このような職場闘争により、こゝに立派な成果をあげた。

かゝる職場闘争は、本当に一時的な交渉なる闘争でなく、今後の我等の闘争に非常な闘争意欲をもたらした。

これから起り来るであろう種々の困難な闘争に備えて、我々は組合幹部だけの闘争と考えず、組合員一人々々が幹部と一丸となって今後の闘争へ前進して、たゝかいの盛上げ方について闘争意欲の芽を備えている。（田川）

前段闘争の成果！

福利厚生施設で闘いとる

三池労組では前段闘争の一つとして福利厚生施設に関する要求を一斉に各支部で起し、それぞれ解決を図ったが、なお二十数項目が中央労使協議会でもまとまらず、ついに団体交渉に持込むことになり十一月十九日の午前九時より組合側は菊川副組合長をはじめ、本部役員、支部長、労働、厚生の各部長が出席し、会社は所長をはじめ部課長に各坑所代表が集り七日間にわたり団交をもち二十七日協定書を結ぶに至った。この間三日二晩徹夜の火の出るような団交の席もあったことを附言する。

冬季にコークス増配

この三池の団交で獲得したものは　まず各戸水道を認めさせ、二十九年下期から二五〇戸宛設置することと、社宅浴場の現在、要求があつまっている緑ケ丘の新設、朝日ケ丘増設、小川開新設がそれぞれ三十年上期までに増設、新設する。社宅増設については予算の関係から出来ないので空戸の利用、退職残留者の退去、新開社宅の整理を行って不足数を緩和する。平井、山門診療所の拡張は平井に三十年上下期にそれぞれ十床を新設し、山門には外科医巡回をする。社宅改造ならびに二十九年上期営繕予算追加計上の件については緊急工事としてヒサシを延長し、残額は一般営繕工事に当る。追加額相当分は四五〇万円、散在社宅の水道料金負担は五月－十一月十三トン、十二月－四月十トンを会社が負担する。個人持工具新規購入の場合は、会社が立替払し、月賦で返済する。門鑑や社宅入浴料金は廃止する。無料車は手引を整備し不足の個所に就ては補充する。コークス増配は受給資格者に本年冬季分一人当四十キロ、明年以降毎冬季一人当三十キロ、以上の外に三交替者には毎年十二月より翌年三月まで各月十キロ増配する。保育園は西原、七夕、原、野添に拡張及び新設する。

住宅手当を増額

住宅手当は従来のを次の通り増額する。

①自家居住の世帯主にして社宅入居を希望する者　三〇〇円

②借家（間）居住の世帯主にして社宅入居を希望する者五〇〇円

③自家居住の世帯主にして社宅入居を希望しない者　九十円

④借家（間）居住の世帯主にして社宅入居を希望しない者　一五〇円

いずれも月額税込で支給。燃料代補助は社宅浴場利用者及び風呂所有を除く世帯主に対して月額二〇〇円を支給する。

面接試驗で立會いを認む

採用の具体的な手続として採用試験の面接の場合は組合の立会いを認め意見を徴し、採用者の教育に関しては包括的に組合と話合う。組合員の移動手続は従来の慣行を会社は尊重して組合と協議の上行い、保安発破係の任命は会社、組合協議の上行う。公私傷病治療后、直ちに原職に復帰困難な者を軽作業させる場合は事業主病院の医師の診断により会社は組合と協議の上行う。軽作業期間中の賃金の取扱いは公傷治療者は持前本人給、私傷治療者は従事する作業の能率給、又は職種給率及び本人本来の職種給を支給する。この外鉱業学校生徒の家族手当は十二月分より支給し港務所の臨時夫については来年三月を目途に専門委員会で検討する。以上が今回の団交で獲得した事項の大略である。

悲惨！中小鉱の實情

榮養失調でバタバタ倒れ

九州炭労では中小炭鉱の同志達を九月十日より診療班を派遣して診察していたが、このほど次のような結果報告がなされた。

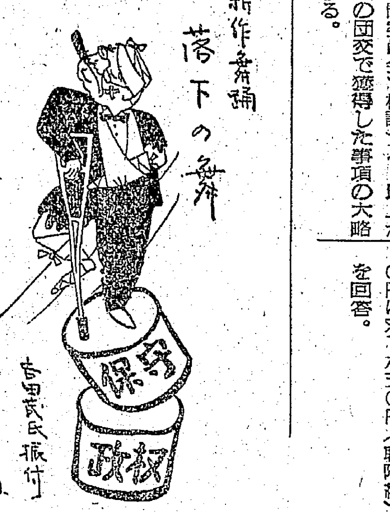
一、全身的衰弱の傾向が強く、感冒、胃腸カタルに非常にかゝりやすくなっている。

二、栄養失調の一歩手前まで栄養不良の状態にあり、これから寒さに向うにつれて悪化し、このまゝほおっておけば死亡する最悪の事態も考えられる。

三、肺結核の患者のすべてはすぐ入院を要する。

四、医療保護、生活保護の適用をすぐに受けさせなければならない。

我々は中小炭鉱の労働者を守る闘いは、吉田政府の政策変更を要求し、打倒のために全労働者、中小企業は闘わねばならない。それと共にはげしい勢いで拡がってゆくカンパ運動をさらに強め、階級的連帯を益々強化しなければならない。



新作舞踊
落下の舞
吉田武氏振付
山野ーM.
保守
政権

替え歌
ないしよばなし

一、ないしよ　ないしよ
ないしよの手本はあのネのネ
ワンマン吉田の　ねえ　政策
だまって　こっそり　MSA
国民（たみ）のおねがい　きいてよネ

二、ないしよ　ないしよ
ないしよで作ったあのネのネ
いくさごっこのねえへいたい
だまって　こっそり再軍備
平和のおねがい　きいてよネ

組織の分裂のりこえ

斗う電産・全自

全石油は好條件で次々妥結

電産、全自動車は組織の分裂の中で、あらゆる困難をのりこえ、共闘を組みつゝ賃上げ、期末手当の闘いをすゝめているが、それにひきかえ全石油は有利な条件でぞくぞく妥結している。

＝電産＝

賃金要求については大衆討議中で十二月に要求書提出の見込。また期末手当については各地方ごとに交渉中である。以上のほかに関東地方では今年春、中労委で出した本格賃金を会社が実施していないので、この完全実施を闘っている。また東電労組と共闘を組み繁忙手当（一律三、〇〇〇円）を要求して闘争中であるが、すでに四、五日前から発電の職場放棄作業拒否を行い、これがため水力八万キロワットおよび鶴見火力発電所が停電した。

＝全自＝

現在各支部ごとに情報連絡共闘をつくって闘っている。年末手当は日産、トヨタ、いすゞの大手三社は昨年より若干下まわる見込みで（昨年一・五カ月分であったのが今年一・三カ月分）、今月末か来月上旬妥結の見込。

賃上については今春一部やった。いま全自の一番大きい問題は組織の再編成であるが、これについては、十二月一、二日、静岡で臨時大会をひらいて解体、即時再編成の方針をきめることになっている

＝全石油＝

全石油共闘を組織して賃闘と期闘を闘っている。その状況は次のとおりである。

【日本石油】　年末手当四五、〇〇〇円要求に対し四二、〇〇〇円で妥結。賃上二、〇〇〇円に対し一、二〇〇円で妥結。

【昭和石油】　年末手当四八、〇〇〇円の要求に対し会社は四〇、〇〇〇円を回答。賃上二、〇〇〇円に対し六五〇円（職階給）を回答。

お正月の御用意はぜひ
洋品雑貨　婦人服地
服装のカワチ
市民館前　電四七二二

ラジオ・テレビ・放送・呉服
コモハラ
大牟田市有明町一ノ二
大牟田市築町　TLE 2368

嫁入道具一式
家庭家具なら何でもそろう
三鑛勞組製作支部指定店
吉田家具店
東新町四丁目　TEL 3677

京呉服　婦人服地
是非一度御來店お願い申上げます
三池専門店会の店
港務支部指定店
坪井呉服店
三川町五丁目　電話六〇七〇番

自轉車のデパート
本田商會
東新町二丁目　電三九二五